

■TCK女王盃(JpnⅢ)アラカルト(過去10年の分析)

※記録は12月31日時点のもの

■前年のクイーン賞(船橋 JpnⅢ)の活躍馬が好成績

※前年のクイーン賞出走馬は2勝、2着8回、3着4回と抜群の成績。

※とくにクイーン賞上位3頭までの馬は19頭が出走し2勝、2着6回。

※クイーン賞1~3着のTCK女王盃の成績。

1着2勝、2着1回、3着1回

2着0勝、2着3回、3着1回

3着0勝、2着2回、3着1回

■クイーン賞の最先着馬が強いが近3年は馬券圏外

◇第10回 トーセンジョウオー(クイーン賞2着)→TCK女王盃2着

※クイーン賞1着馬不在。

◇第11回 デアリングハート(クイーン賞3着)→TCK女王盃2着

※クイーン賞1、2着馬不在。

◇第12回 ヤマトマリオン(クイーン賞1着)→TCK女王盃優勝

◇第13回 ユキチャン(クイーン賞1着)→TCK女王盃優勝

◇第14回 ミラクルレジェンド(クイーン賞1着)→TCK女王盃2着

◇第15回 プレシャスジェムズ(クイーン賞2着)→TCK女王盃3着

※クイーン賞1着馬不在。

◇第16回 レッドクラウディア(クイーン賞1着)→TCK女王盃3着

※最先着馬で馬券圏外は第17回アクティビューティ(クイーン賞1着→TCK女王盃4着)と

第18回 トロワボヌール(クイーン賞1着→TCK女王盃4着)、第19回ディアマイダーリン
(クイーン賞1着→TCK女王盃5着)の3頭。

※2016年クイーン賞は、1着トロワボヌール、2着タイニーダンサー、3着タイムビヨンド

■ダートグレード競走の実績に注目

◇連対馬20頭中、11頭がダートグレード競走の勝ち馬。また12頭にダートグレード競走3着内の実績がある。

◇ダートグレード競走3着内の実績がない8頭のうち、6頭はダートグレード競走初出走。

■芝の一流馬にもダート実績が欲しい

※芝の一流馬ながらダート実績がなく敗れた主な馬。

第10回12着 テイエムプリキュア(阪神JF優勝)

第12回12着 アルコセニョーラ(新潟記念、福島記念優勝)

第15回7着 プロヴィナーージュ(朝日チャレンジC2着、クイーンS2着、阪神牝馬S2着)

■前年暮れの東京シンデレラマイル出走馬は1勝、3着2回

※東京シンデレラマイルは平成19年に創設。

※以後9年間で、ここからの出走馬は1勝、3着2回。

※昨年のシンデレラマイル優勝馬はトーセンセラヴィ

■JRA所属馬が8勝と圧倒

◇JRA所属馬 8勝、2着9回、3着7回。3着内率80.0%

◇地方所属馬 2勝、2着1回、3着3回。3着内率20.0%

※地方所属馬の内訳

◇TCK所属馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率3.3%

◇船橋所属馬 1勝、2着1回、3着2回。3着内率13.3%

◇川崎所属馬 1勝、2着0回、3着0回。3着内率3.3%

◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着0回。3着内率0.0%

※他に愛知6頭、笠松10頭、佐賀3頭、兵庫1頭、金沢3頭、高知4頭、計27頭が出走するも
第10回クインオブクイン(笠松)と第16回アドマイヤインディ(高知)の4着が最高成績。

※JRA所属馬のワンツー・フィニッシュは7回。

※JRA所属馬のワンツースリーは6回(第11回、第14回、第16回、第17回、第18回、第19回)。

■南関東所属馬は、重賞実績に注目

◇南関東所属馬の連対馬3頭中2頭が南関東重賞の優勝馬

※例外は第15回優勝のハルサンサン(ロジータ記念2着など)

◇3着馬3頭すべてに重賞3着以上の実績あり

■JRA所属馬には、近走成績やTCK実績は不問

◇3着内馬24頭中、近2走で勝利を挙げているのは11頭

◇3着内馬24頭中、15頭がTCKコース初出走

◇3着内馬24頭中、15頭にダートグレード競走3着以内の実績あり

※例外9頭中6頭はダートグレード競走に初出走。

■休養明けの馬は苦戦

◇3着内の30頭中27頭の前走は、前年の12月から年明けの1月

◇4ヶ月以上の休み明けで敗れた主な馬

第12回7着 サヨウナラ(約8ヶ月ぶり。エンプレス杯1着)

第14回5着 シンメイフジ(約8ヶ月ぶり。関東オークス1着)

第18回6着 エスメラルディーナ(約6ヶ月ぶり。関東オークス1着)

■5歳、6歳馬で8勝

◇4歳馬 2勝、2着3回、3着4回。3着内率30.0%

◇5歳馬 4勝、2着1回、3着3回。3着内率26.7%

◇6歳馬 4勝、2着4回、3着2回。3着内率33.3%

◇7歳馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率3.3%

◇8歳馬 0勝、2着2回、3着0回。3着内率6.7%

■馬体重の増減はひと桁が理想

※3着内馬 30頭中 29頭の馬体重が前走比較でひと桁。

■外国産馬は1勝

※3頭が出走し 1勝

◇第14回 ラヴェリータ

■1番人気馬の3着内率は100%

◇1番人気馬 4勝、2着5回、3着1回。3着内率 100.0%

◇2番人気馬 4勝、2着1回、3着1回。3着内率 60.0%

◇3番人気馬 0勝、2着1回、3着3回。3着内率 40.0%

※4番人気馬は0勝、2着1回、3着0回で不振

■所属別の人気馬の動向

◇地方所属の1番人気馬は、2頭が出走し1勝、2着1回

◇JRA所属の1、2番人気馬は、18頭が出走し7勝、2着5回

■今野忠成、浜中俊騎手が2勝

※今野忠成騎手は第13回、第15回で優勝。

※浜中俊騎手は第16回、第17回を連覇。

■笹田和秀調教師が2勝

※笹田和秀調教師は、第16回、第17回をメーディアで連覇。

■大外の⑩番は3着以内が1回もない

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	0	0	1	1	1	2	1	1	1	0	1	1	0	0
2着	0	3	2	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
3着	1	0	1	0	1	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0

■TCK 女王盃(JpnⅢ)アラカルト(過去全19回の分析)

※第1回から第6回までは2000mで実施

※記録は12月31日時点のもの

■1、2番人気馬で14勝

◇1番人気馬 8勝、2着7回、3着2回。3着内率 89.5%

◇2番人気馬 6勝、2着3回、3着1回。3着内率 52.6%

◇3番人気馬 2勝、2着2回、3着4回。3着内率 42.1%

※3着馬は4番人気～10番人気で12回を占めている。

■3番人気以内の馬による勝率は84.2%

◇19回中16回は、上位3番人気以内の馬による勝利。確率 84.2%

◇19回中10回は、上位3番人気以内の馬によるワンツー。確率 52.6%

◇19回中1回のみ、上位3番人気以内の馬によるワンツースリー。確率 5.3%

■優勝馬は4歳～6歳

◇4歳馬 6勝 勝率 31.6%

◇5歳馬 8勝 勝率 42.1%

◇6歳馬 5勝 勝率 26.3%

※7歳以上の馬では第3回マジックリボン(7歳)、第18回アクティビューティ(8歳)、第19回パワースポット(8歳)の2着が最高成績。

■外国産馬は5勝

※5頭はいずれもJRA所属馬。

第5回 レディバラード

第7回 レマーズガール(第9回2着)

第8回 レマーズガール

第9回 グラップユアハート(第7回2着)

第14回 ラヴェリータ

■3着内率ではJRA所属馬が優勢

◇JRA所属馬 13勝、2着14回、3着9回。3着内率 63.2%

◇地方所属馬 6勝、2着5回、3着10回。3着内率 36.8%

※地方所属馬の内訳

◇TCK所属馬 0勝、2着1回、3着5回

◇船橋所属馬 3勝、2着2回、3着3回

◇川崎所属馬 1勝、2着0回、3着2回

◇浦和所属馬 0勝、2着1回、3着0回

◇笠松所属馬 1勝、2着1回、3着0回

◇栃木所属馬 1勝、2着0回、3着0回

※これまで笠松14頭、愛知10頭、佐賀5頭、金沢4頭、高知4頭、栃木3頭、兵庫2頭が出走。

※TCK所属馬は、第4回セクシーディナーの2着が最高成績。

■武豊騎手、今野忠成、浜中俊騎手が2勝

※武豊騎手は第7、8回を連覇(2着3回)。

※今野忠成騎手は第13回、第15回で優勝。

※浜中俊騎手は第16回、第17回を連覇。

■現役では笹田和秀調教師が2勝

※湯浅三郎調教師(JRA・引退)も2勝。

■優勝馬は偶数番号が13勝、奇数番号は6勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	2	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	1	2	0	1
2着	2	3	3	3	1	2	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0
3着	2	2	1	1	1	1	3	0	1	1	2	1	1	0	2	0

■7枠が6勝でリード

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	0	3	1	0	4	3	6	2
2着	2	5	6	1	2	2	1	0
3着	3	2	1	3	1	1	3	5